

## 福岡支部総会における OB伊藤晴香さんの国試対策講話

来年、薬剤師国家試験受験を控え勉強法について参考にされたら良いと思われる事項につきまして紹介させていただきます。

「勉強の工夫」として話されたのは 「①大学での授業を大切にする・・・具体的には先生方の視点や言葉を自分のものとして捉える。 ②実務実習での経験や思い出さえも試験問題の選択肢を削る（消去法）一つの知識として捉え学ぶ。 ③国試の過去問に集中しない・・・代わりに、模擬試験の解説を読む」など、体験を踏まえた貴重なお話でした。

また、参考書の使用方法についてのお話では・・・結論的には「読破」と言う事なのですが、具体的には青本 10 巻（ページ数にして約 5 千ページ）を国家試験受験までに 10 周読んだと言う事です・・・手順としては 1 周目「時期：9 月 位置付：初回導入 具体的対応：問題には手を付けずとにかく読む」 2 週目「時期：9 月後半～10 月 位置付：掲載内容・掲載個所の把握 具体的対応：解説を含め読書」 3 周目～10 周目「時期：11 月～国家試験受験中の休憩時間まで 位置付：各試験に向けてその復習 具体的対応：とにかく読み続けることにより参考書の中身が網羅・理解・整理され、問題対応力が限りなく向上する」と言うことでした。

それから最後に、対応が可能かどうかは別にして、参考書として青本の他に国試対策参考書およびサブアイテム等、数種をお持ちになっておられたそうですが、その数種類の参考書を読み比べることにより、記憶に残った知識の違いを組み合わせ、国試受験において出題される応用問題の対応が容易であった旨のお話がありました。

現役の学生さんも数名参加されておりましたが、今後の勉学の参考になったものと期待するところであります。

